



創立85周年を迎えました

3月1日、当院は創立85周年を迎え、瀬谷真清瀬市副市長、救世軍日本軍国司令官スティーブン・モーリス大佐、女性部会長ウェンディ・モーリス大佐をお招きして隣接する救世軍清瀬小隊にて創立記念集会を行いました。

会の始めに、初代園長である岩佐倫の言葉が読み上げられました。清瀬病院が設立された当時の様子に思いを巡らせるとともに、先代の思いを引き継ぎ、これからも地域の皆様から愛される病院として、職員一同、精進してまいります。

一人でも多くの患者に熱きベッドと心の慰めを、という切なる願いから、昭和10年より方々探ししまわり、房総半島、湘南に候補地を得たものの、地元の反対にあい、13カ所目にしてようやく清瀬村に土地が与えられました。わたしの胸には様々な思いがめぐり、自らの目頭の熱くなるのを覚えます。栄光があるように。

昭和14年3月1日 清瀬療養園（清瀬病院の前身）初代園長 岩佐 倫



創立85周年、誠におめでとうございます



救世軍清瀬病院は、キリストの愛の精神を模範とし、その言葉の示すおり、「愛」の心をもって、人に接する医療を続けられ、患者様のかけがえのない大切な時間を「そのひとらしく」生きていただくために、良き伴走者として、安心して穏やかに過ごすことができるよう、ケアや支援に多大な貢献を果たされ、地域の方々に愛され育まれてまいりました。これもひとえに、土居病院長をはじめ、職員各位、そして、これまで病院運営に携わっていただきました多くの皆さまの並々ならぬ熱意とご努力のたまものであり、深く敬意を表します。

今後とも救世軍清瀬病院におかれましては、地域医療のリーダーとしてご尽力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 救世軍清瀬病院が、85周年を契機に益々発展されますことと、関係各位のご健勝を祈念いたします。

清瀬市長 濵谷 桂司

医療療養病棟

ご家族とお花見に行きました



面会に来られたご家族をお誘いし、中庭へお花見に行きました。

久しぶりに患者様をご家族と一緒に外にお連れすることができました。

「一緒に桜を見られるとは思っていなかった」「外に出たのも久しぶり、一緒に桜を見たのは数十年ぶりかも」といった感想をいただき「手を握り返してくれた」「うなずいてくれた」と、患者様のご様子にご家族も喜ばれ、いいお花見となりました。



介護医療院シャロン

シャロンでは、お天気に関係なく春を感じていただけるようにスタッフが窓に飾り付けた桜と窓から見える大きな満開の桜で、室内でも入所者の方々とお花見をすることができました。

待ちに待った暖かい日には、桜吹雪の中、お散歩をしながら春を感じることができた皆様の穏やかな表情に、スタッフも癒されました。



ホスピス緩和ケア病棟

4月4日、ホスピス緩和ケア病棟の中庭でお花見をしました。コロナ禍となってから集まってお花見をするのは、本当に久しぶりです。

今回は音楽療法士による音楽と桜のお花見のコラボで、夢のような時間になりました。

もともと雨予報だったこの日、雨は降らず、それだけでも感謝でいっぱいでしたが、皆さんで声を合わせて歌い出したたん、陽が差し始め、まさに恵みを感じました。参加された患者様の頬もほんのり桜色になり、笑顔も咲きました。



院内報告会&医療部発表会



院内の各部署が活動を報告し合う院内報告会を録画の視聴で実施しました。テーマは「最期まで“生きる”を支える」です。どのスタッフも思いを込めて発表しており、アンケートでは「多職種連携でよりよい医療を提供することができ『“生きる”を支える』につながることがよく分かった」「多職種それぞれの視点から患者様を支えていることが伝わり、病院にいる全ての人が、患者様のために大切な役割を担っているのだと再認識できた」など、例年以上に多くの記入がありました。

また、2月16日に法人全体で行われた医療部発表会に院内報告会の中から「清瀬もしバナ会の設立」が代表で発表しました。教育、研修委員はその発表を聞いて、「チーム力」を改めて感じ、目的や目標を一致させて行うことの大切さを学びました。

今年度は対面式での実施を予定しております。

2023年度院内報告会

最期まで“生きる”を支える
～「大切なあなた」によりよい医療・ケアを多職種で～

「チャブレンとスピリチュアルケア」

「医療安全～医薬品の安全使用を中心として～」

「医療・介護療養病棟における経管栄養食について」

「音楽療法活動の現在（いま）」

「清瀬もしバナ会の設立」

チャブレン

薬剤科

栄養科

音楽療法

ホスピス緩和ケア病棟

清瀬もしバナ会のメンバー

多職種で構成されたメンバー

- 看護師3名
- MSW3名
- チャブレン2名
- 管理栄養士1名

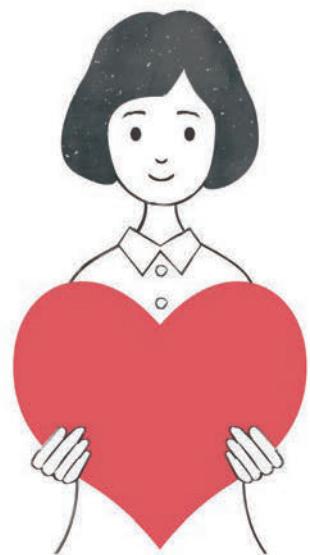


清瀬暮らしの保健室Cafe

救世軍清瀬病院では、6月2日(日)の「病むこと老いること対話と寄り添い」というテーマの医療部講演会を期に、地域の方々に向けて、7月から対話の場を開くことになりました。隔月で定期開催いたします。チャプレンなど多職種の病院職員が参加する予定です。

死生観やグリーフケアを含む靈的なケア、日頃抱えている医療や介護の話題など、分かち合いながら寄り添い合える場となることを願っています。

※ 詳細は後日チラシをご参照ください



シリーズ連載

チャプレンの窓

病院の庭には、何種類かの鳥が飛んできて目と耳を楽しませてくれる。この小鳥たちを見ながら、ふと、病院のボランティアの方々の姿を連想させられた。こちらからお願いしたのではなく、自発的に何かできることがないかと病院を訪ねてくださって、スタッフや入院され利用しておられる方々の目に触れることもなく、楽しく活動をしてくださる。

自然界からの恵みと人間の営みの美しさは、確かに病院を潤してくださる。



ホスピス・療養病棟の入院問合わせは
医療相談室までご連絡ください。

TEL: 042-491-1412 (月~土 9:00 ~ 17:00)

介護医療院シャロンへのお問合わせ

TEL: 042-497-8185

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 (祝日を除く月曜日~金曜日)

<https://kiyosehp.salvationarmy.or.jp/sharon/>

詳しくは、当院のWEBサイトをご覧ください。ご不明な点はお電話にてご相談ください。



救世軍清瀬病院
The Salvation Army Kiyose Hospital

介護医療院
シャロン



救世軍清瀬病院 TEL: 042-491-1411

The Salvation Army Kiyose Hospital

〒204-0023 清瀬市竹丘1-17-9

当院は宗教に関係なく、どなたでもご利用になれます。詳しくはホームページをご覧ください。

